令和４年度第２回黒石市総合教育会議議事録

◇開催日時　　令和５年３月３０日（木）　午後１時３０分

◇開催場所　　黒石市教育委員会　３階　会議室

◇議事日程　　１　開会
２　市長あいさつ
３　議事
　　黒石市教育大綱改定案について
４　閉会

◇出 席 者

市　　長	髙　樋　　憲
教 育 長	山　内　孝　行
教育委員	宇　野　元　雄
教育委員	永　川　信　子
教育委員	後　藤　耕　谷

◇説明のために出席した者の氏名

市長部局	企画財政部長	須　藤　勝　美
	企画課長	花　田　浩　一
	企画課長補佐	福　原　真由美
教育委員会	教育部長	村　上　　靖
	理事・指導課長	角　田　元　伸
	学校教育課長	駒　井　俊　也
	社会教育課長	村　元　　裕
	文化スポーツ課長	山　口　祐　宏

◇会議の概要

開会　午後１時３０分

髙樋市長　定刻となりましたので、ただ今より令和４年度第２回黒石市総合教育会議を開催いたします。

本会議は、黒石市総合教育会議運営要綱第５条第１項の規定によりまして公開となります。また、同要綱第３条第３項の規定により私が議長を務めることになっておりますので、このまま進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

市長あいさつ

髙樋市長　先月２月２２日に開催いたしました、第１回総合教育会議では、教育大綱に基づいて実施した事業の検証を行ったほか、これを踏まえた大綱の見直しについて、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。それを整理したうえで、本日は改定案を提出させていただきます。

内容につきましては、この後、説明いたしますが、これまで以上に市民に活用していただける大綱となりますよう、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら協議してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入る前に、本日欠席の柿崎委員から事前に教育大綱改定案の承認をいただいておりますことを報告いたします。

髙樋市長　では、本日の会議の議事録の署名者を決めさせていただきます。

黒石市総合教育会議運営要綱第７条第３項の規定により、議長及び議長が指名する１人の構成員が署名することとなっております。後藤耕谷委員を指名いたしますので、よろしくお願いします。

後藤委員　はい。

議事　　「黒石市教育大綱改定案について」

髙樋市長　それでは、議事に入ります。本日の案件は、黒石市教育大綱改定案についてであります。しばらくの間、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。それでは、庶務から説明をお願いします。

学校教育課長　前回の会議、それから書面にても、皆様から大変貴重なご意見をいただきました。それに基づいて、事務局調整案を作成いたしましたので、ご説明いたします。まず資料の１ページ目です。教育大綱の教育施策の（１）の分野ですけれども、宇野委員から一番上の◆の部分、下線を引いているところ「楽しく充実した学校生活を送ることができるよう」の部分を「自分らしさを発揮できるよう多様な教育的ニーズに対応した」とすればどうかというご意見をいただきました。事務局では、おそらく子どもたちの自己肯定感を高めるというような意味合いかと捉えました。この案を採用し、事務局のほうで飾り言葉というか、宇野委員のご提案の前に「個々のよさや可能性を引き出し」という言葉を加え、その後は宇野委員のご提案どおりということで調整案を作成いたしました。

２ページ目です。前回の会議におきまして、後藤委員から学校部活動の地域移行の件でお話がありました。改めて後藤委員と、永川委員からも後藤委員のご意見を踏まえてということで記載のとおりのご意見をいただきました。学校部活動の国での議論が地域移行の検討と地域クラブ活動の検討の二点で議論されております。ですので、事務局の調整案としては、今のところ現状はこれから取り組んでいくということで、表題は「地域クラブ活動」ではなく「学校部活動の地域移行に向けた環境整備」といたしました。中身は永川委員の意見も取り入れ「学校と地域が連携・協働し、子どもたちが将来にわたり文化・スポーツ活動に親しむことができる場を確保するため、学校部活動の地域移行に向けた環境の整備に努めます」といたしました。後藤委員の「機会」を「場」に変更したのは、二通りの意味として「場所」と「場面」という意味合いで変更いたしました。２ページ目は以上です。

３ページ目です。柿崎委員から「市立図書館を活用した学び」を追加できないかというご意見がありましたが、図書館だけ突出するのはどうかという事務局の意見で「公民館」も加えました。「公民館や市立図書館等の社会教育施設を活用して」といたしました。

４ページ目です。こちらは教育委員会としての意見です。国の名勝である「金平成園（澤成園）」を表記したいということで、調整案が「国指定文化財である高橋家住宅や名勝金平成園（澤成園）」という部分を加えました。

５ページ目です。こちらはスポーツの分野ですけれども、宇野委員からご意見をいただきました。ご意見の内容は「スポーツ活動の支援・充実」「日常的にスポーツ活動を親しむことができる機会を拡充するために施設の整備を進め、スポーツ協会や地域スポーツクラブ・団体でスポーツ活動を支援します」ということでした。事

務局としても、現行の大綱の「管理運営」という部分が、たしかに建物があれば管理運営をするのは当然ですので、最重要項目としては少し弱いので、若干の調整を加えて、宇野委員の意見を採用し、調整案は主語として「市民が」を加えました。宇野委員の意見で「スポーツ協会」という固有名詞が出ていましたが、少し固有名詞を書くのはどうかということで「スポーツ関係団体」とひとまとめにして記載いたしました。事務局調整案は以上です。

髙樋市長　ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問ございますか。

宇野委員　一番最初のところですが、「楽しく充実した学校生活を送ることができるよう」というのが非常に漠然とした表現なので、もう少しポイントを絞りたいと思いまして考えました。今、学校教育課長が説明したとおり最終的には自己肯定感が高まれば良いという思いですけれども、先般の検証の会議において、特別支援の充実を図って支援員を多く採用し、あるいは就学援助事業も充実させてきているということも踏まえて、やはり個々のニーズに合ったもの、そこの言葉がキーポイントとなると思いまして考えました。「個々の良さや可能性を引き出す」という言葉も入れていただいてとても良いなと感じました。ありがとうございます。

後藤委員　同じく１ページの部分ですが、「自分らしさ」を考えた場合に、自分らしさの捉え方というのは人それぞれで、さまざまではないかなと感じました。良い意味でも、悪い意味でも使われる場合があるわけですね。ということで、文面を見ますと「自分らしさ」の中に「個々のよさや可能性を引き出し」と、ここも「自分らしさ」につながるわけですから、案としては「自分らしさ」ではなく「個々のよさや可能性を発揮できるよう多様な教育的ニーズに対応した相談・支援体制の充実に努めます」というかたちにしたほうがすっきりして良いのではないかと思います。以上です。

髙樋市長　今、後藤委員から文面の中で若干の手直しをしてはどうかとご意見がありましたが、これについて「個々のよさや可能性を発揮できるような多様な教育的ニーズに対応した相談・支援体制の充実に努めます」という表現でいいのか「自分らしさ」をこのまま入れて明記すればいいのか皆様方のご意見をお願いします。

山内教育長　どちらの意見もなるほどと思いますが、今、教育では自己肯定感を高めることがいかに大切かということが言われておりますので、自己肯定感という言葉を「自分らしさ」に置き換えて、ここであえて強調しているので、できれば「自分らしさ」をそのまま入れたほうがアピールとして自己肯定感の向上につながるので入れたほうがいいと感じます。

髙樋市長　永川委員どうですか。

永川委員　良い意味での自分らしさも、悪い意味での自分らしさも教育現場では受けとめてその子を伸ばすという考えでいけば、私は事務局の原案でいいのかなと思います。

髙樋市長　宇野委員どうですか。

宇野委員　私はさっきお話したように「可能性を引き出し、自分らしさ」という言葉にこだわります。

髙樋市長　これについて、後藤委員はどうですか。

後藤委員　私はそんなにこだわりはないです。

髙樋市長　それでは「個々のよさや可能性を引き出し、自分らしさを発揮できるよう」というかたちで調整案を進めていきたいと思いますので、よろしいですか。

（はい）

髙樋市長　ありがとうございました。続きまして２ページ目の部分についてご意見等ございますか。

永川委員　今の文科省のやりたいことに沿って新しく設けるわけですから、これでよいかと思います。

山内教育長　補足説明になりますが、学校部活動の地域移行は、先日の教育長会議もありましたが、近隣でも一番の課題となっている項目でございます。県及び国のほうでもきちんとした方針や方向性をまだ出していない。そういう中にあって、これからの目標を、この項目を入れることによって、よりはっきりした方向性を黒石市としても打ち出せるので、ぜひ新設で入れてもらいたいと思います。

髙樋市長　他にご意見ございませんか。それでは、事務局調整案で進めさせていただいてよろしいですか。

（はい）

髙樋市長　それでは、そのように進めさせていただきます。続きまして３ページ目についてご意見ご質問ございますか。

（なし）

髙樋市長　それでは、そのように進めさせていただきます。続きまして４ページ目についてご意見ご質問ございますか。

（なし）

髙樋市長　それでは、そのように進めさせていただきます。続きまして５ページ目についてご意見ご質問ございますか。

後藤委員　事務局案を見ると「スポーツ活動の支援・充実」となっています。下のほうを読んでいくと「支援」は出てくるのですが「充実」は出てきていない。「充実」の文言が入っていないので、最後のところを「スポーツ活動の支援と充実に努めます」というふうにすればいいのではないかと思います。それに伴って５ページの（４）の２行目に「スポーツ活動の推進」とありますが、「推進」よりも「充実」のほうが強いと思うので「の推進」を削除すると「スポーツ活動」と「教育環境」の二つが並立になるので両方に「充実」が入るということで「の推進」を削除してはどうでしょうか。以上です。

髙樋市長　ただ今のご指摘について、どうでしょうか。

宇野委員　賛成です。スポーツ活動の充実、つまり２０２６年の国スポに向けた盛り上がりもありますので、そういう意味では、施設および環境そしてスポーツ関係団体との連携。これには、私も意味の中に学校部活動も入れたつもりです。そういう意味も少し入っていると思いまして、早めに協議会を立ち上げて支援充実に努めていただきたいと思いました。

髙樋市長　他にご意見ございますか。そうしましたら、後藤委員からご指摘いただいたように文面を直すということでよろしいですね。

（はい）

髙樋市長　それでは、そのように進めさせていただきます。他にございませんか。

（なし）

髙樋市長　それでは先般ご審議いただいたことにつきまして、ご承認いただいたものとしてよろしいですね。

（はい）

髙樋市長　それでは、この改定案を黒石市教育大綱として決定したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（異議なし）

髙樋市長　ご異議がありませんので、この大綱案を黒石市教育大綱として決定いたします。なお、この大綱の期間は２０２３年４月１日から２０２７年３月までとなります。その他委員の皆様から何かございましたら、お願いします。

永川委員　今回の改定案は、文化的な建物や図書館の建設など、黒石市の実態を今までより表していますし、国の新しいあり方に沿った充実した前向きで建設的なものになっていますので、これに伴って各課の事業を見直して、より前向きで市民のニーズに対応できるものを目指していただきたいと思います。以上です。

髙樋市長　ありがとうございました。他にご意見ございましたら。よろしいですか。この教育大綱をベースとして教育委員会は教育行政を進めていくという考えのもと、今後取り組んでいただきたいと思います。その際に、財政的なものがネックとして出てきた場合は、市長部局に話をしていただき対応できるものは対応していきたいと考えております。そして、教育大綱を尊重する教育行政に努めていただければと考えておりますのでよろしくお願いいたします。その他ございますか。よろしいですか。ないようでありますので、本日の議事は終了させていただきます。議事進行のご協力に心から感謝申し上げます。

以上をもちまして、令和４年度第２回黒石市総合教育会議を閉会いたします。

本日は、誠にありがとうございました。

閉会　午後１時５２分

◇署　名

黒石市総合教育会議運営要綱第７条第３項の規定により、ここに署名する。

令和５年３月３０日

黒　石　市　長　　（　髙　樋　　憲　）

黒石市教育委員会委員　　（後　藤　耕　谷）